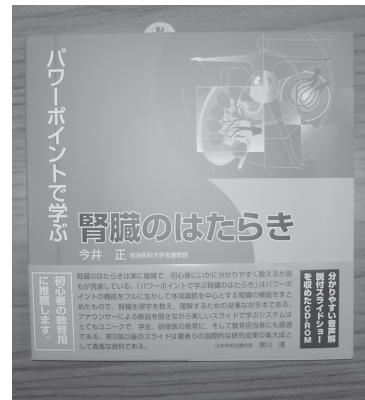


BOOK REVIEW

今井 CD-ROM 版「腎臓のはたらき」

河原 克雅（北里大学医学部教授，腎生理学）

今井正自治医科大学名誉教授は、われわれの世代から見ると永遠の青年研究者である。腎生理学研究歴40年以上の天下の大先生に、“青年”の称号を贈るには訳が有る。今井先生は、マイクロパンクチャー micropuncture 法（微小穿刺法）が全盛期の折に（1950-70年代），いち早く日本の地にマイクロパーフュージョン microperfusion 法（微小灌流法）を導入された。腎生理学研究における永遠のパイオニアだからである。自治医大のアイソトープ実験室に設置された単離尿管灌流装置は、お世辞にも整頓されているとは言えなかったが（第4部：腎臓生理学の研究方法に愛用の装置が掲載），数え切れないくらいの腎生理学研究の論文を生み続けた。中でも，当時難関中の難関であった細いヘンレループの灌流を世界で初めて成功された時は，今井先生の技術力の確かさと忍耐強さに恐れ入ったものである。CD-ROM 版「腎臓のはたらき」（東京医学社）の構成は，第1部：やさしく学ぶ腎機能，第2部：詳しく知るネフロンの機能，第3部：ホルモン 薬物の作用，第4部：腎臓生理学の研究方法になっている。第1部と第2部には，カラー版テキスト（印刷）とスライドショー（パワーポイント）が付いている。特に，第1部のスライドショーは音声付きなので，時間に余裕のある初学者にはうれしいサービスだ。テキストを開けば，学習目標，講義項目，講義の要約が列挙されているので，医学生が大学での講義の前後に予習/復習をするのに便利である。各章（1-1～1-8章）の最後に，オリジナルのテスト問題が載せてある。CD 使用後の理解や学期試験前の実力を試すのに使えるだろう。第2部は，



腎臓生理学をより深く学ぼうとする医学生向けである。グループ学習や小人数演習，チュートリアル学習の教材に最適である。自動音声と章末のテストが無い事を除けば，ほとんど第1部と同じ構成である。通常の生理学教科書では絶対にお目にかかれない膜輸送体や生の実験データが，魅力的なイラスト付きでふんだんに掲載されている。第3部と第4部は，テキストによる解説が付いていないので，初学者や専門外の医学研究者が内容を理解するには，少し難度が高すぎるだろう。それにしても CD による腎臓生理学の入門書や解説書は，本邦初である。パワーポイントに不慣れな人や改訂を重ねた一般商品ソフトのように大胆に使うと，予期せぬ事態（音声の消失など）に追い込まれることもある。画面の誤植訂正やコンピューター使用操作性が向上すれば，腎生理学研究における今井ワールドを実体験できる優れた CD である。